

第36号
令和7年
2025

会報

にしきうら



令和7年度須崎工業高等学校同窓会総会

高知県立須崎工業高等学校同窓会

目 次

1、就任ご挨拶	同窓会会長	S40T加納弘史	1
2、退任挨拶	前同窓会会長	S41C林 和夫	2
3、関東支部だより		S43E淀 吉友	3
4、中京支部だより	中京支部長	S59E濱口直己	4
5、関西支部だより	関西支部長	S55S石田道良	6
6、高知支部だより	高知支部長	S61M上村幸宏	8
7、須崎支部だより	須崎支部長	H05E明神高文	9
8、窪川支部だより	窪川支部長	S50M西内一隆	10
9、幡多支部だより	幡多支部長	S43M宮本博行	10
10、事務局だより	事務局長	S47C梅原正博	11
11、決算報告・監査報告 令和4年・5年・6年			14～16
12、令和7年度予算			17
13、本部役員名簿			18
14、編集後記			19



ご挨拶

昭和40年電気通信科卒
高知県立須崎工業高等学校 同窓会
会長 加納 弘史

全国各地の同窓会員の皆様におかれましては、益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。この度、大変ご尽力・ご活躍された林会長から、会長職をお引き受けする事になりました加納でございます。何分にも力不足で、十分に務まるかどうか心配ですが、皆様方のご協力を頂きながら頑張ってまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、世界で 550 万人もの命を奪い猛威を振るったコロナもようやく下火となり、今年は久しぶりに本部総会が開催できるようになりました。

年代を超えて、語り合う集まりは同窓会の一大行事で、顔を見合せながら話し合えば、お互いに元気が出で来ます。繋がりの大切さ同窓生の良さが伝わって来ます。大事に取り組んでいきたいと思っています。

母校も「須崎総合高校」の新入生が入学して早くも 8 年になり、各教室にはプロジェクトも設置され設備の整った校舎で、生徒の皆さんには切磋琢磨、勉強にスポーツに頑張っている事と思います。

「西糺町」に校舎があった卒業生の皆様には懐かしい思い出になりますが、今は須崎市立図書館の建設予定地となっています。南道路側の東に、「須崎工業高校」が在った事を記す碑と四角い記念の石版を設置して頂く事になっています。須崎へ行った時には見に行ってみてください。

最後になりますが、「須崎総合高校」の発展と各地の同窓会の皆様方の一層のご活躍をお祈りし、ご挨拶とさせて頂きます。



退任の挨拶

昭和41年化学工業科卒

前会長 林 和夫

北海道でも冷房器具設置のニュースが聞かれるなど、今年は例年ない猛暑が続きましたが、同窓会会員の皆様におかれましてはお元気でお過ごしの事と存じます。

さて、私は令和7年5月10日に開催されました同窓会本部理事会におきまして同窓会会長退任の承認をいただきました。

平成25年から令和7年までの12年間会長を務めさせていただきました、在任中には、母校にも県下高等学校の組織改革や、全国的なコロナウイルス蔓延などの大きな流れがあり、同窓会会員の皆様には大変ご心配をおかけいたしましたが、何とかその任を終えることが出来ました。

今後におかれましても、新会長を中心として須崎工業高等学校同窓会が運営され、益々ご盛会されますことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



現在のJR須崎駅

関東支部だより

一瞬青春に戻ったかと



昭和43年電気強電科卒

淀 吉友

2025年11月末サンケイホールで関東同窓会も無事に終わる事ができました。翌日見知らぬ番号の電話が入った。昨日参加した方から、わざわざお礼の電話でした。その時に今回の同窓会は成功かなと思いました。

前回は2022年。以降3年の空白もあり、開催につき、役員会の皆はとても心配していた。参加者の人数は前回の半数近く、若手メンバーもなく、微妙な時期に差し掛かってきています。

当日の出席者平均年齢は80歳近くになっております。先ずはこの空白の3年間で亡くなつた15名に黙祷を行い、故人を忍びました。野瀬顧問(31年)の校歌の説明を聴き、島田様(38年)のういろう話を聴き感動。カラオケでは、WIFIでYouTubeを利用して好きな歌を歌つて貰おうと用意しました。何曲か唄つた後の「南国土佐」の歌の時、高橋様の提案でマイクを各テーブルに回して、リレーのように一人一人が歌い繋ぎこれを二度三度繰り返しました。段々と熱くなつてきました。集つた24名が一列並びして校歌、あの校歌を三度も齊唱し最後は感極まり皆々の目頭に光るものがありました。その時17~18歳の頃を思い出していたに違ひないでしよう。

今回の出席者の最高齢は88歳でした。敬意を払います。あの青春に戻った一瞬は脳裏に刻まれたでしようか。私はあの日の感動を覚え、一役員として胸を撫でおろしました。

同窓会は楽しかったと言わましたが、それは皆が純粋な気持ちで同じ方向に向かって青春をもう一度味わう大切さを教えてくれた事でした。



2025年11月22日 関東支部総会

中京支部だより

昭和59年電気科卒

支部長 濱口 直己

同窓生の皆さん、お元気でお過ごしの事と思います。

同窓会中京支部の支部長をお預かりして3年目となる濱口です。

中京支部では、毎年11月に名古屋市内で懇親会を開催しており、東海4県（愛知・岐阜・三重・静岡）から多くの同窓生が集まっています。世代を超えた再会や新たな出会いの場となり、私自身、毎年この時間をとても楽しみにしています。

ご存じの通り、母校である須崎工業高校は、須崎高校との統合により「須崎総合高校」として新たな歩みを始めました。須工の名が公式には残っていない現実には、少し寂しさも感じます。しかし、私たち卒業生の心の中には、須崎工業高校で培った誇りや絆が今も確かに息づいています。

今後、母校が実在しない中での同窓会活動の在り方について、私たちも真剣に考えていかなければなりません。単なる「懐かしさ」だけでなく、新しいつながりや価値を見いだしていけるような活動を模索してまいります。

なお、私事ではございますが、本年60歳を迎え、定年を節目にこれから的人生についても見つめ直しているところです。仕事はもう少し続ける予定ですが、第二の人生では、これまでとは違った「楽しみ」や「生きがい」を見つけていきたいと思っています。こうした人生の変化の中でも、同窓会活動は私にとって大切な居場所のひとつとなっています。

私は在学中、ソフトボール部に所属しておりました。現在も、須崎総合高校のソフトボール部が元気に活躍している姿を目にするたび、大変うれしく、誇らしい気持ちになります。母校の名が変わっても、その精神や熱意は、しっかりと後輩たちに受け継がれていると感じます。

中京支部会員の近況をお知らします。

●片岡 正人氏 昭和59年 機械科卒 吾川中卒

今年還暦を迎えます。須崎工業高校を卒業して40年以上になりました。

今も中京支部懇親会の繋がりある事が大変ありがたいと思っています。

一年一年が先はどうなるかわからないのでこの繋がり大事していきたいと最近、思っています。今年、2年ぶりに妻と孫の3人で、1泊2日で高知に帰省しました。

田舎へ帰って近所を6件ほどお土産を持って回りました。自分の実家は、80歳以上で限界集落です。将来は誰もいなくなります。淋しく感じました。回ったところところで沢山の野菜を頂きました。人情味があり心暖かく良い帰省でした。

●野中 義昌氏 昭和37年 機械科卒 戸波中卒

昭和37年機械科卒業当年で81歳三重県鈴鹿の地で頑張ってきました。

町内会の役員とか民生委員とか日本一喧しい桑名の石取祭の系列で鈴鹿市神戸の石取祭に世話役として参加し、地域蜜着で過ごしてきましたが、よるとしなみで息子夫婦から同居を勧められ今年12月に神奈川の方に移住する事になりました。

中京支部の方々には年配としていろいろ心使いを頂きました、元気でいたら次の中京支部の懇親会には出たいと考えている昨今です。

●小畠 真里 平成7年 化学工業科卒

最近車中泊で旅行に行くのが楽しいですね。

目的地と目的は予め決めているけど、後はフリーで、現地で気になる場所とかの情報とかあつたら、行ってみたり全てを決めて行く訳じゃないから、良かったり悪かったりもありつつ楽しんでいます。

●矢野 寿美 平成8年 化学工業科卒

さすが一人暮らし常に安全、健康でストレス無し。

強いて言えば、老眼でしょうか。

細かい0、3、6、8、9が見にくくなりました。

お盆はもちろん自宅警備のため引きこもりです。

以上、会員の近況報告でした。

今後とも中京支部の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

この会報を見られた中京支部にお住まいの方で、懇親会に参加したい方は濱口までご一報ください。須工卒業生として親睦を深めていきましょう。以下連絡先です。

濱口 直己

・携帯 090-1109-0152

・メール hamahama_snow=777@yahoo.co.jp

関西支部だより



ご挨拶

昭和55年造船科卒

石田 道良

この度、須崎工業高等学校同窓会関西支部長を拝命致しました石田です。平素より、同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

前任者である下元支部長の後任として重責を担うことになり、身の引き締まる思いでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、関西支部長就任にあたり、簡単ではありますが自己紹介させていただきます。須崎市原町で生を受け、保育園、小学校、中学校、須崎工業高等学校と地元から離れるこなく 18 年間過ごさせていただきました。

省みますと、幼少の頃からよく遊び、ソフトボール、野球等の球技に没頭したことを思い出されますが、須崎工業高校では、なにもせず、3 年間を帰宅部として過ごしました。

須崎工業高校卒業後は、大阪に営業所のある食品会社に就職いたしましたが、約 5 年間勤務した後、運送会社で約 3 年間、トラックに乗り続けました。全国、津々浦々とはいえませんが、各地方に荷物をお客様のもとへ配達いたしました。

子供たちの成長を見とどけた上で、今の会社にお世話になり現役バリバリで仕事に、趣味のスポーツ観戦（野球・ソフトボール）と共に充実した日々を過ごしております。

本同窓会も決して順風満帆の風が吹いているわけではありませんが、任された 1 期 3 年間を力不足ではありますが、皆さんと力を合わせて進めてまいります。

今後とも、高知県立須崎工業高等学校同窓会関西支部にご支援・ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願ひいたします。



2025年11月9日関西支部総会

高知支部だより



昭和61年機械科卒

支部長 上村 幸宏

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、同窓会高知支部長にご指名いただき、大変光栄に存じます。皆様のご支援とご協力を賜りながら、高知支部の活動をより良いものにしていきたいと決意しております。

残念ながら須崎工業高等学校は無くなりましたが同窓会は、旧友との交流や絆を深める大切な場です。私も微力ながら、皆様が気軽に集まり、楽しめるような活動を推進してまいります。何かご要望やご意見がございましたら、遠慮なくお知らせください。

今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様とお会いでいる日を心より楽しみしております。

高知支部 2024・2025 年活動報告

2024 年までの経過

2019 年に『第 34 回高知支部総会』を開催して、2020 年から新型コロナウィルス感染症が流行し、高知支部総会が開催できなくなっていました。

この間、年末には役員会を開いて、次期総会の開催などについて話し合いを行いました。

2024 年 11 月 30 日 役員会

総会の開催や役員の補充について話し合いを行いました。

2025 年 2 月 8 日、3 月 22 日、4 月 11 日 青年部会

第 35 回総会の具体的な取り組みや案内状の作成・郵送、若手役員の選出等打ち合わせを行いました。

上記が今までの高知支部の活動ですが、今後は青年部の活動を重点に置き若い世代に繋いでいきたいと思います。

須崎支部だより



平成5年電気科卒

支部長 明神 高文

みなさま初めまして。令和6年より須崎支部長をお預かりしております。

支部長としては力不足であります。須崎支部役員の方々に色々と温かい助言及び協力を頂き、なんとかやっております。

私個人の工業高校での思い出ですが、入学当時は現在の場所で、統合後の現在も面影を残した校舎となっております。

今となっては遠い記憶となりましたが、高校生活での思い出のひとつといえは入学後、幡多青少年の家に1年生全員で合宿に行つたことです。

各クラス浜辺にて全力で校歌を歌い、先生の合格が出るまでやり直すというユニークな体験が今も記憶に鮮明に思い浮かび、それとともに「あの頃は若くて元気だったなあ」とこの歳になって年齢とともに色々な重さを感じております。

私は決して真面目な生徒ではなく成績も下から数えた方が早い方でしたが、工業高校で培った知識や経験が今も尚、仕事や活動する上で様々な役に立つおり、電気やコンピューターを使う上での肌感覚として培わっております。

今はもう須崎工業高等学校としての学校はありませんが、須崎総合高校の中には所々に懐かしい景色（特に外観の雰囲気や旧体育館の周辺、登校時の山手町を登る坂など）久々に訪れると当時の思い出が断片的に蘇ります。



旧自転車置場



通学路登り坂

窪川支部だより

昭和50年機械科卒

支部長 西内 一隆

みなさん、お元気ですか。

須崎工業高校同窓会窪川支部長の西内一隆です。

日頃より、同窓会活動にご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、諸般の事情により、支部としての活動を実施することが難しい状況となっております。

しかしながら、同窓の絆は、活動の有無にかかわらず、私たちの心の中にしっかりと根付いているものと信じております。

今後、状況が整い次第、再び皆さまと笑顔で集える機会を設けられるよう、準備を進めてまいります。

どうか皆さまにおかれましては、健康に留意され、日々を穏やかにお過ごしください。

今後とも、窪川支部ならびに同窓会本部へのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

幡多支部だより

昭和43年機械科卒

支部長 宮本 博行

須崎工業高校も須崎高校と統合し、寂しさを覚えるのは私だけではないと思います。

新しい会員もなくなり、活動費も制約を受けることになりました。

幡多支部は例年通り、十分な活動ができないまま過ごしています。また、役員も全員 70 歳を越える年になりました。また、亡くなった方もおり、若返りが急務となっています。

宿毛工業高校ができて、幡多支部の卒業生は黒潮町在住者が主になってきていますので、黒潮町在住者の役員を入れることも考えています。

新型コロナ禍以降、会員間の疎通もますます少なくなりました。

今年は総会も開催したいと協議をしています。支部として役員の若返りを計ることで、活動の活性化を計らなければならないと思っています。

事務局だより

昭和47年化学工業科卒

事務局長 梅原 正博

最近の地球温暖化に伴うと思われる、気候の温暖化、台風や線状降水帯による災害が全国的に発生しており、いつどこで災害か起きてもおかしくない状況となっています。

最近になってやっと朝晩は涼しくなってきましたが、日中はまだまだ暑い日が続いていると思います、この会報が皆様のところにお届けできる頃にはだいぶん寒い日が続いていると思いますが、皆様におかれましては、益々ご健勝でありますようお祈り申し上げます。

今年は3年に1度の同窓会総会と会報発行の年となりました、前回の令和4年の同窓会総会はコロナウイルス蔓延により中止となっていますが、会報につきましては同窓会ホームページ「会報にしきうら 第35号」に掲載しておりますのでご覧いただきたいと思います。

今年の総会は、令和7年10月4日（土）に須崎市市民文化会館の大会議室で開催され93名の同窓会員にお集まりいただきました、コロナ明けという時節からか残念ながら県外支部からのご参加はありませんでしたが、総会終了後の懇親会も酒を酌み交わしにぎやかに開催できました。

総会の内容につきましては以下のとおりで行されました。

議題

- 1、令和4・5・6年度事業報告
- 2、令和4・5・6年度会計報告
- 3、監査報告
- 4、役員改選・新役員挨拶
- 5、令和7年度事業計画
- 6、令和7年度予算
- 7、その他 役員改選による林前会長に対する感謝状の授与

令和4年度から令和7年度までの理事会において以下の事項について決定いたしました。

役員改選について

令和5年度、副会長に高知支部長の加納弘史氏（昭和40年電気通信卒）

理事に高知支部の結城伸二氏（昭和57年電気卒）

理事に高知支部の門田克彦氏（昭和58年造船卒）

の3名が就任されました

令和 7 年度、会長に高知支部の加納弘史氏（昭和 40 年電気通信卒）
顧問に高知支部の林和夫氏（昭和 41 年化学工業卒）
副会長に須崎支部長の明神高文氏（平成 5 年電気卒）
理事に須崎支部の池田勉氏（平成 4 年電気卒）
の 4 名が就任されました、また、以下の 4 名が退任されました
会長退任 林和夫氏
顧問退任 岡林幸保氏（昭和 28 年造船卒）
副会長退任 戸梶昭雄氏（昭和 45 年電気卒）
理事退任 福原靖幸氏（昭和 57 年電気卒）

令和 7 年度の役員改選につきましては、林和夫会長が 12 年間の会長職を退任され、新たな会長として高知支部の加納弘史氏が就任されました、長期にわたり会長としてご尽力いただきました林和夫氏に加納会長から総会で感謝状を贈られました。

尚、改選後の役員名簿は本誌に掲載しておりますのでご確認ください。

令和 7 年度の事業計画については以下のとおりとなっています。

令和 7 年 4 月 7 日 令和 7 年度理事会開催通知発送
19 日 中京支部懇親会・総会
5 月 10 日 令和 7 年度理事会 須崎総合高校会議室
24 日 高知支部交流会・総会 高知会館
10 月 4 日 令和 7 年度同窓会総会 須崎市市民文化会館
11 月 8 日 中京支部懇親会・総会 わらやき屋名古屋
9 日 関西支部総会 奈良万葉若草の宿三笠
22 日 関東支部総会 大手町サンケイプラザ
12 月 会報にしきうら第 36 号発行（ホームページに掲載）
令和 8 年 3 月 1 日 須崎総合高校卒業証書授与式
3 月 28 日 会計監査

令和 7 年度の予算について

令和 7 年度の予算は 3 年に一度の総会と会報「にしきうら」のホームページ掲載費用 466,600 円を含めた一般会計で総額 1,384,216 円の予算が理事会で承認されました。

支部配分金については、コロナ前の水準まで戻し、436,250 円としました。

令和 8 年度への特別会計累計予算額は 2,044 万円となっています。

また、ご寄付を頂きました 375 万円を特別預金としています。

令和 4・5・6 年度の会計報告については 14~16 頁のとおりとなっています。

会則の変更はありません、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

須崎総合高校について

須崎総合高校の令和6年度卒業証書授与式が令和7年3月1日に行われました、卒業生は全日制普通科が56名、機械専攻が17名、造船専攻が4名、電気専攻が10名、電子情報専攻が4名、機械制御専攻2名、住環境専攻が9名で合計102名、定時制普通科の卒業生が5名で全107名が須崎総合高等学校の第6期の卒業生となりました、卒業生の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

総合高校への進入路については、大間方面からの進入路が狭く、大型車両の進入が大変でしたが、今般、北側の多ノ郷・池ノ内方面からの進入路の工事が進んでいます、完成しますと大型バスの進入がスムーズになり利便性が格段に良くなりますし、南海地震発生時の避難場所としての安全性が向上されますので早急な完成が望まれます。

完成時期について須崎市役所に問い合わせたところ令和9年度の完成見込みであるようです。

進入路の取り付け工事の完成により、従来玄関前に仮設しておりました生徒顕彰碑・プロペラ・錨などのモニュメントについては本設置されることになります。



プロペラ・錨などのモニュメント群



北斜面進入路工事

令和4年度決算報告

一般会計決算書

[収入]

項目	金額	備考
前年度繰越金	48,191	
定期預金利息	26,741	
普通預金利息	10	
雑収入	0	
特別会計補助	400,000	
合計	474,942	

[支出]

項目	金額	備考
会議費	0	
事業費	238,732	
通信費	5,513	
事務費	57,492	
慶弔費	10,000	
旅費	58,100	
支部配分金	0	
雑費	540	
予備費	0	
合計	370,377	

令和5年度への繰越金額

収入 474,942 - 支出 370,377 = 繰越金額 104,565

繰越金額の内訳 高銀通帳 95,467 現金 9,098

特別会計決算書

[収入]

項目	金額	備考
前年度末累積積立額	23,295,000	
令和4年度納入額	0	
合計		

[支出]

項目	金額	備考
一般会計へ補助	400,000	
合計	0	

令和5年度への繰越額

前年度繰越金 補助支出 繰越金
 $23,295,000 - 400,000 = 22,895,000$

監査報告

通帳及び証書類等により監査の結果、金額その他については相違なく
 預金通帳・定期預金証書ともに確実に管理され適正に執行されています。

令和5年3月29日

監査 山本 孝志

山下 剛史

令和05年度決算監査報告

一般会計決算書

[収入]

項目	金額	備考
前年度繰越金	104,565	
定期預金利息	11,383	
普通預金利息	5	
雑 収 入	0	
特別会計補助	500,000	
合 計	615,953	

[支出]

項目	金額	備考
会議費	31,438	
事業費	114,908	
通信費	9,372	
事務費	31,348	
旅 費	197,100	
支部配分金	196,376	
雑 費	2,090	
予備費	0	
合 計	582,632	

令和06年度への繰越金額

収入 615,953 - 支出 582,632 = 繰越金額 33,321

繰越金額の内訳 高銀普通預金 28,579 現金 4,742

特別会計決算書

[収入]

項目	金額	備考
前年度末累積積立額	22,895,000	
令和5年度納入額	0	
合 計	22,895,000	

[支出]

項目	金額	備考
一般会計へ補助	500,000	
合 計	500,000	

令和6年度への繰越額

前年度繰越金 補助支出 繰越金

22,895,000 - 500,000 = 22,395,000

特別預金

項目	金額	備考
特別預金額	2,000,000	

監査報告

通帳及び証書類等により監査の結果、金額その他については相違なく
預金通帳・定期預金証書ともに確實に管理され適正に執行されています。

令和 6年 3月 30日

監 査 山本 孝志

山下 剛史

令和06年度決算監査報告

一般会計決算書

[收 入]

項目	金額	備考
前年度繰越金	33,321	
定期預金利息	27,419	
普通預金利息	486	
雑 収 入	0	
特別会計補助	650,000	
合 計	711,226	

[支 出]

項目	金額	備考
会議費	39,000	
事業費	160,000	
通信費	432	
事務費	40,000	
旅費	215,900	
支部配分金	190,160	
雑費	1,870	
予備費	4,948	
合 計	652,310	

令和07年度への繰越金額

収入 711,226 - 支出 652,310 = 繰越金額 58,916

繰越金額の内訳 高銀普通預金 43,034 現金 15,882

特別会計決算書

[收 入]

項目	金額	備考
前年度末累積積立額	22,395,000	
令和7年度納入額	0	
合 計	22,395,000	

[支 出]

項目	金額	備考
一般会計へ補助	650,000	
合 計	650,000	

令和7年度への繰越額

前年度繰越金 拠助支出 繰越金

22,395,000 - 650,000 = 21,745,000

特別預り金

項目	金額	備考
特別預り金額	2,755,273	石碑支払245,000円 預金利息273円

監査報告

通帳及び証書類等により監査の結果、金額その他については相違なく
預金通帳・定期預金証書ともに確實に管理され適正に執行されています。

令和7年3月29日

監 査 山本 孝志

山下 剛史

令和7年度予算

一般会計予算

[收 入]

項目	金額	備考
前年度繰越金	58,916	
定期預金利息	25,000	
普通預金利息	300	
雑 収 入	0	
特別会計補助	1,300,000	
合 計	1,384,216	

[支 出]

項目	金額	備考
会議費	60,000	
事業費	466,600	HP管理費 会報作成 総会補助 事業補助
通信費	10,000	
事務費	50,000	
旅 費	230,000	
支部配分金	436,250	関東 181 200円 36,200
		中京 141 200円 28,200
		関西 304 200円 60,800
		高知 831 180円 149,580
		須崎 2195 60円 131,700
		窪川 157 130円 20,410
		幡多 74 130円 9,360
雑 費	10,000	
予 備 費	121,366	
合 計	1,384,216	

特別会計予算

[收 入]

項目	金額	備考
前年度末累積積立額	21,745,000	
合 計	21,745,000	

[支 出]

項目	金額	備考
一般会計へ補助	1,300,000	
合 計	1,300,000	

令和8年度への累積額

収 入 支 出 積 立 額

$$21,745,000 - 1,300,000 = 20,445,000 \text{ 円}$$

特別預金

項目	金額	備考
特別預金額	3,755,273	利息含む

高知県立須崎工業高等学校

同窓会役員名簿

2025/5/10 理事会後

役 職	氏 名	卒業年	科 別	住 所	備 考
相談役	清家 寛	昭和18年	機械2種	高知市	
〃	横山隆行			須崎市	総合高校 校長
顧 問	林 和夫	昭和41年	化学工業	高知市	
会 長	加納弘史	昭和40年	電気通信	高知市	
副会長	梅原正博	昭和47年	化学工業	須崎市	事務局長
〃	明神高文	平成05年	電 気	須崎市	須崎支部長
常任理事	西山庸一	昭和48年	造 船	須崎市	
〃	坂本定浩	昭和54年	機 械	須崎市	
〃	川上清英	平成01年	化学工業	須崎市	
理事	宮本博行	昭和43年	機 械	四万十市	幡多支部長
〃	伊與木純一	昭和43年	造 船	神奈川県	関東支部長
〃	中川次男	昭和44年	機 械	高岡郡	
〃	下元祐介	昭和47年	電 气	京都市	関西支部長
〃	西内一隆	昭和50年	機 械	高岡郡	窪川支部長
〃	伊藤久文	昭和52年	電 气	高岡郡	
〃	結城伸二	昭和57年	電 气	高知市	
〃	門田克彦	昭和58年	造 船	高知市	
〃	濱口直己	昭和59年	電 气	愛知県	中京支部長
〃	海地登志夫	平成01年	化学工業	須崎市	
〃	池田 勉	平成04年	電 气	須崎市	
〃	高橋誠幸	平成06年	造 船	高知市	
監 査	山本孝志	昭和44年	電 气	高岡郡	
〃	山下剛史	平成06年	電 气	須崎市	

終身会費納入者名

(令和1年8月末～令和7年8月末まで納入いただいた方)

ご協力に感謝とお礼を申し上げます

令和7年5月＜昭和47年＞機械科 兼田寛氏

後記

昭和47年化学工業科卒

事務局長 梅原 正博

令和4年発行の「にしきうら」第35号の表紙 西糺町の池ノ内にある「お馬堂」について、第35号に掲載されたときには老朽化が進み、後側に傾き倒壊の危機となっていましたが、この度、保存会有志の方々のご尽力により立派に再建されました。

私は糺町旧校舎の最後の卒業生（昭和47年卒）ですが、マラソン大会前の冬の体育時間はもっぱらランニングで、池ノ内の池を一周するコースでした、まず学校を出発して、お馬神社（お馬堂）の前を通り、市役所の下を回って、池ノ内集落を通り、学校へ戻ってくる左回りのコースでした、あまり走るのは得意ではありませんでしたので好きではありませんでしたが、今思えば懐かしく当時の事が思い起こされます。

コースの道沿いにある今の「お馬神社」は、道路を隔てて前に今はディスカウントのお酒屋さんがあります、当時は池ノ内の池も大きかったですが、今は随分と小さくなっています、お越しの際にはぜひお立ち寄りください。



再建されたお馬神社（お馬堂）

校歌

一、須崎工業高校の
教の庭に身と心
新天新地光明の
輝くもとに勇ましく
日々きたひぬく健児団

二、自然の暗示わが教

大平洋の荒波は
わが人生の活動か
更に心の平穏は
波静かなる錦浦

三、工業報国理想とし

自主独立の精神を
抱き責務を怠らず
真理と正義重んじて
わが向上の道を逐ふ

各種証明書の発行について

（母校事務室からの伝言）

証明書が必要なときは、所定の証明書交付申請書（用紙は事務室に備付）を校長宛提出しなければなりません。

申請書には必要事項記入のうえ押印し左記金額に相当する高知県収入証紙を貼付してください。遠隔地からの申込みは事務手続に相当の日数を要しますので早目に申込みをしてください。又県外には高知県収入証紙は販売していないので、現金、又は郵便小為替を同封してください。

なお返信用の封筒には切手の貼付、住所、氏名、郵便番号をお忘れなくご記入ください。

手数料は次のとおりです。

卒業証明書	一通につき四二〇円
成績証明書	一通につき四二〇円
単位修得証明書	一通につき四二〇円

手数料

送り先 〒七八五一〇〇三〇

須崎市多ノ郷甲四一六七一三

高知県立須崎総合高等学校事務室

電話（〇八八九）四二一七八六一

FAX（〇八八九）四二一七二五

証明書の件につき不明な点等がありましたらいつでも右記電話番号の証明係までお電話ください。



夜のJR須崎駅

会報「にしきうら」第三六号
令和七年十二月吉日発行

高知県立須崎工業高等学校

発行所 同窓会事務局

印刷所

有限会社 笹岡印刷所
高知県須崎市東古市町二番十六号
（〇八八九）四二一〇二四四番